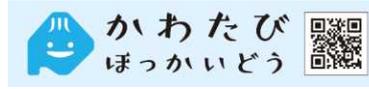


ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和6年3月14日
帯広開発建設部

農地の湛水被害軽減と生産性向上を目指し、 河川事業が農業事業と連携した試験施工に着手します

十勝川流域の地域の方々にご協力頂き、農地の湛水被害、過湿被害を軽減し、農作業の効率化、生産性向上、農産物の安定生産、農業経営の安定化に向けて帯広開発建設部は、十勝川の河川事業と十勝総合振興局の農業農村整備事業とが連携した試験施工に着手します。

試験施工の内容は、帯広開発建設部が河川事業の河川掘削土を活用して農地の盤上げを行い、十勝総合振興局が農業農村整備事業として表土の整正と暗渠排水等を行うため、その前後土壌の状態等を調査するものです。

■試験施工の目的

十勝川流域は、これまで頻繁に大雨による湛水被害に悩まされていた地域です。

これを踏まえ、十勝川流域の地域の方々にご協力頂き、帯広開発建設部は、十勝総合振興局と連携し、農地の冠水被害軽減、過湿被害軽減、農作業の効率化、生産性向上、農産物の安定生産、農業経営の安定化に取り組みます。

■試験施工の概要

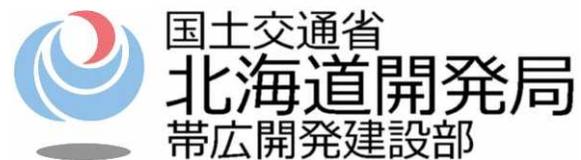
1. 時期 令和6年度着手
2. 内容 河川事業の河川掘削土を活用した農地の盤上げ（帯広開発建設部）
農業農村事業による表土整正と暗渠排水整備、土壌調査等（十勝総合振興局）
調査の結果を踏まえた検討（帯広開発建設部、十勝総合振興局、豊頃町）
3. 場所 豊頃町

【問合せ先】

北海道開発局 帯広開発建設部 電話（ダイヤル）0155-24-4105
流域治水対策官 川邊 和人（内線506）
流域治水対策官付 流域治水対策専門官 小泉 和久（内線297）
帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>



河川掘削土を活用した農地盤上げ



十勝川流域における農地湛水被害軽減の取組

- 十勝川流域は、これまで頻繁に大雨による湛水被害に悩まされていた地域です。
- 河川事業の河川掘削土を農地に搬入、盤上げし、その後、十勝総合振興局が農業農村整備事業として表土の整正と暗渠排水等を行います。

[参考]十勝川水系河川整備計画(R5. 3変更)

河道掘削の実施にあたっては、掘削土砂を適切に処理するとともに、掘削土砂を堤防盛土や農地等の地盤嵩上げ等に活用することで浸水被害の低減等、流域治水に資する対策として活用されるよう、関係機関と連携・調整を図りながら推進する。



搬入土砂の現地確認・調査



河道掘削・土砂運搬(イメージ)



H23. 9農地湛水被害状況



農地への搬入(イメージ)



敷均し(イメージ)

道営農業農村整備事業
による反転工・暗渠排水
整備等



河川掘削土を活用した農業農村整備事業 ～ 豊頃町



【現状】

豊頃町は、十勝川の下流部の低平地に位置しており、泥炭土壌や細粒質低地土など、排水性に劣る土壌が主体の地域である。

これまで、河川では排水機場の整備やポンプ車の配備などを行い、内水対策を進めてきた。また、農地においては、H7～H12、H19～H24に道営・農業農村整備(畑総)事業を実施し、暗渠排水などの排水対策を進めてきた。



豊頃町より



【課題】

豊頃町の十勝川沿いの地域は、河川水位の影響を受けやすい状況。十勝川の水位上昇に伴い、河川水の逆流防止を目的に樋門を閉じることから、内水位が上昇し、一部のほ場で、冠水被害が度々発生することが課題。

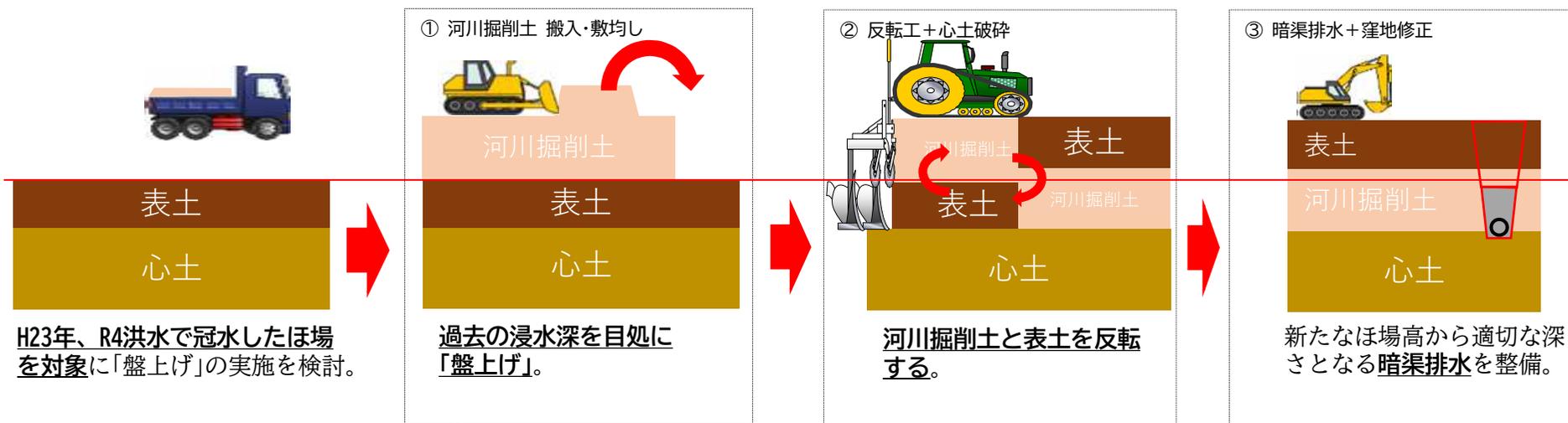
近年では、H23、H28、R4など冠水被害が数回発生。



【今回の対応】

こうした課題の解決に向けて、地域では、より一層、排水の効果を高めるため、過年度洪水で農地が冠水した高さを目処にほ場の盤上げを行うとともに、道営・農業農村整備(畑総)事業において、今後、整備する予定の暗渠排水が、有効に機能するよう、連携した対応を要望。

北海道開発局と豊頃町、北海道は、地域要望を踏まえ、連携して対応する予定。



H23年、R4洪水で冠水したほ場を対象に「盤上げ」の実施を検討。

過去の浸水深を目処に「盤上げ」。

河川掘削土と表土を反転する。

新たなほ場高から適切な深さとなる暗渠排水を整備。

地域の関係者

北海道開発局 河川事業

北海道 農業農村整備事業

関係者が

連携して対応!!

豊頃町



試験施工箇所図



とよこるまち

豊頃町

海と大地とほるにれの町

